

平成 29 年度 愛知県キャンプ協会総会議事録

日時：平成 29 年 5 月 14 日(日)10 時 30 分～12 時 10 分

場所：熱田神宮文化殿 講堂

1 開会の辞 時安事務局長

出席者 30 名、委任状 38 名 ※正会員 82 名 (5/14 現在)

*「会則 19 条第 1 項 総会は正会員数の 3 分の 1 以上の出席をもって成立」により本日の総会ならびに議決は成立。

2 あいさつ 平田会長

「雨が好きな方は？」雨は野外活動においてあまりよいイメージをもたない人が多いが、植物を育てたり恵みの雨になったりするときもある。今日の総会では、事業報告、会計報告などを話します。多くの意見をお願いしたい。

3 議事録署名人選出

事務局から提案された、正会員の江川博一氏と理事の外山隆久氏が選出された。

<議長 平田会長> *会則 19 条第 2 項 総会の議長は会長とする

4 議 事

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告 (説明：藤井理事長)

1) 平成 28 年度総会

・熱田神宮文化殿講堂で実施。愛知県キャンプ協会のミッション、平成 27 年度の事業報告及び会計報告、平成 28 年度の協会組織運営体制についての報告がなされた。

2) 普及推進事業

・ユニバーサルキャンプフェスタ 2016 ※日本キャンプ協会 BUC 事業

愛知県美浜少年自然の家周辺の海と山のフィールドを活用したアクティビティを実施。参加者が楽しいと思えるようなプログラムを企画運営した。そのための事前準備から当日の様子、事後研修までの流れを、スライドを交えて伝えた。 事業運営スタッフ 42 人 参加者 100 人 (30 グループ)

3) 研修事業

・キャンプアカデミー 2016

① 第 1 回 5 月 14 日 (土) 会場：熱田神宮文化殿講堂及び熱田神宮内の「熱田の杜」

「熱田の杜を『遊ぼう・学ぼう・楽しもう』～森には不思議がいっぱい～」

◆歴史・文化・自然解説ツアーコース

キャンプ指導者として、自然に対する配慮、自然の成長について学んだ。参加者 19 名

◆熱田の杜で遊ぼうコース

笹を使った草笛体験から、自然を感じる遊びを中心に学んだ。参加者 15 名

② 第 2 回 3 月 18 日 (土) 会場：名古屋市大高緑地公園

「ゲーム研修&野外料理」

参加申込者が最小催行人数に達しなかったため、事業中止

③ 団体会員連携事業

団体会員との日程調整が整わず、事業を実施できなかった。

4) 指導者養成事業

・キャンプインストラクター養成講習会

① 豊田市総合野外センター

講師派遣依頼をいただき、内田理事が講師を担当した。参加者 14 人。

② 愛知県キャンプ協会主催事業

愛知県美浜少年自然の家で、理事が中心となって講習を行い実施した。参加者 15 人

・キャンプディレクターの養成

キャンプディレクターテキストが改定され、平成29年度から新しいテキストによるディレクター養成講習会が実施される。平成29年度に愛知県キャンプ協会主催でキャンプディレクター2級養成講習会を実施する予定。

5) 調査研究事業

- ・ 3点(会員数に見合った協会運営・団体会員との密な連携・会員への情報発信の強化)を柱とした中期計画(2020年度までの5年間)により運営していくことを確認する。長期計画(2025年度までの10年間)については、役員の見解を基にディスカッションを行い、内容を公表する。
- ・ 愛知県内におけるキャンプに関わる情報を平成29年度には、ホームページに掲載する予定。

6) 情報発信事業

- ・ 正会員の推進、Facebookによる事業報告、ホームページのリニューアル、広報誌等の広報活動について報告した。また、日本キャンプ協会と連携した広報活動についても報告がなされた。

7) 事務局

・日本キャンプ協会との連携

日本キャンプ協会50周年記念事業アジア・オセアニアキャンプ大会に参加し、中部・北陸ブロックブースの運営協力を行う。

日本キャンプ協会総会(2回)、指導者研修会(2回)に参加。

中部・北陸ブロック会議(10月1~2日)及びブロック内のBUC事業の事業一覧を会員に送付。

- ・その他、資料に掲載されているとおり。

〈質疑 応答〉

萩原氏：キャンプインストラクター養成講習会で、豊田、美浜で合格者は29人であるが、愛知県登録者は23人なので、6人はどうなっているのか。

藤井理事長：6名は合格したが、愛知県に登録しなかった。

賛成多数で承認

第2号議案 平成28年度決算報告・監査報告(説明：武藤副理事長)

＜収入の部＞

- ・個人会費収入471人、団体会員が9団体。
- ・事業についての位置付けを、会員対象のものは研修、一般の参加者を対象とするものは事業とした。
- ・補助金収入は子どもゆめ基金が対象となる。

＜支出の部＞

- ・研修会費はキャンプアカデミー、事業費はユニバーサルキャンプフェスタがおもな該当事業である。
- ・管理費は事務局にかかるもの。コピー機のリース料、ホームページの管理運営委託料等の費用となる。

＜運営基金＞

- ・周年行事のために、切り崩さない方針で運営していく。

〈質疑 応答〉

質問なし

＜監査報告＞ 六郷監事が欠席のため、藤井理事長が監査報告を代読 **※別紙報告書参照**

＜以下報告書概要＞

- ・収入簿及び支出簿、預金通帳類等監査した結果、適正に処理されていることを認める。
- ・以前からの指摘事項については一定改善の取組みが行われているが、目標会員数の確保が非常に困難な状態なので、提供するサービスを向上させ、財政の安定化につなげることが必要。今後、収支のバランスから中長期的な視野で適正な事業規模を定めたり、会員サービスとして各事業と研修会の位置付けや活動区分のあり方を明確にし、“魅力ある本協会ならではの活動づくり”の具体化を図るよう要請する。

〈質疑 応答〉

賛成多数で承認

第3号議案 平成29-30年度役員改選

藤井理事長より、会長、副会長、理事、監事、その他役員について提案がなされた。会員数にあったスリムな役員体制で運営するため、副会長1名、理事も20人以内のところ16人としたことの説明がなされた。

賛成多数で承認

新任理事（江本、山根、鈴木、中野、石動、本多）の挨拶、継続理事の挨拶

<新理事による理事会のため休憩>

再開後、時安事務局長から、役員から互選という形で、新理事長に事務局長と兼任で選任されたこと、副理事長を置かないこと、各担当の主任を設置したことが承認されたことを報告した。

その後、藤井前理事長が退任の挨拶、時安新理事長の挨拶を行った。

第4号議案 平成29年度事業計画（説明：時安理事長兼事務局長）

- ・ 監事からの指摘事項について、会員のニーズに応えた研修、インストラクターからディレクター資格取得につなげること、などを基本に事業計画を説明した。
- ・ 指導者養成事業については、キャンプインストラクター養成講習会、キャンプディレクター2級養成講習会の企画・運営
- ・ 普及推進・情報発信事業については、事業報告をスピーディーに行う。協会役員のコラム、研究ノート、レポートを進める。
- ・ 研修事業については、団体会員に事業の企画運営を行ってもらおう。
- ・ その他、各種研修会を素早く決め、指導者に研修の場を設けていく。詳細は資料を参照。

質問・意見なし 賛成多数で承認

第5号議案 平成29年度予算案（説明：武藤会計・調査研究担当）

- ・ 補足資料にある、これまでの会員数の減少グラフを基にして会員数470名で維持できるよう目標にする。
- ・ 子どもゆめ基金からの補助金額が正式に確定すれば予算に計上する。
- ・ キャンプアカデミーは参加者からの参加費で収支が収まるようにする。
- ・ ユニバーサルキャンプフェスタ2017についても支出を抑えて実施していく。
- ・ 予算案は安全に運営するために、収入は少なめに設定している。収入が増えれば適宜補正を行っていく。
- ・ 運営基金については、取り崩さない。

質問・意見なし 賛成多数で承認

5 その他（時安理事長兼事務局長）

なし

6 閉会の辞（時安理事長兼事務局長）


以上議事録に間違いありません。

平成29年5月26日

議事録署名人

外山 隆久 

議事録署名人

江川 博一 

議長（第1～5号議案）

平田 裕一 